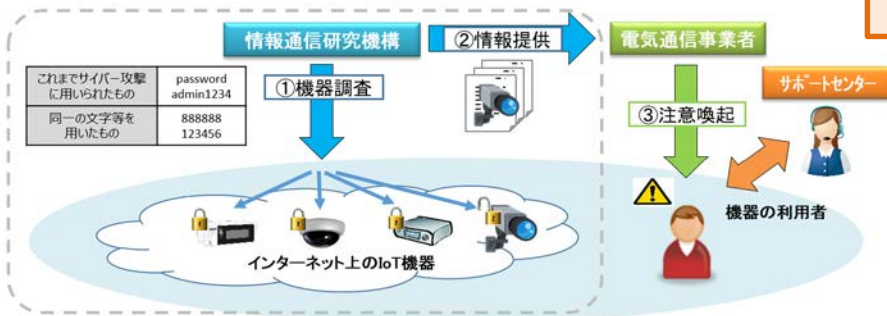


- 情報通信研究機構（NICT）がサイバー攻撃に悪用されるおそれのあるIoT機器を調査し、インターネットプロバイダを通じた利用者への注意喚起を行う取組「NOTICE」を2019年2月より実施。
- NOTICEの取組に加え、マルウェアに感染しているIoT機器をNICTの「NICTER」プロジェクト※で得られた情報を基に特定し、インターネットプロバイダから利用者へ注意喚起を行う取組を2019年6月中旬より開始。

※ NICTが、インターネット上で起こる大規模攻撃への迅速な対応を目指したサイバー攻撃観測・分析・対策システムを用いて、ダークネットや各種ハニーポットによるサイバー攻撃の大規模観測及びその原因（マルウェア）等の分析を実施。

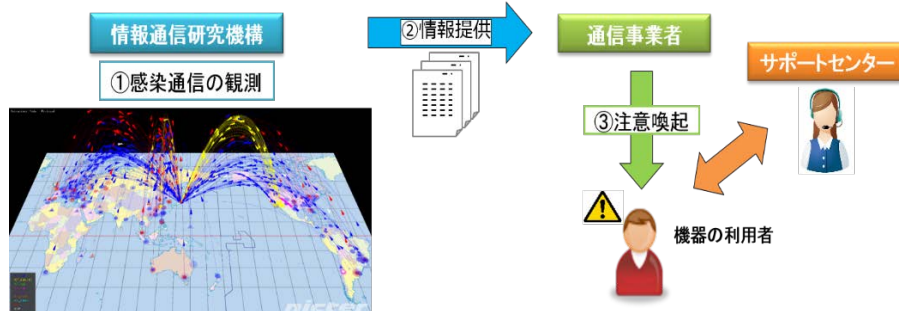
【NOTICEの概要】



調査対象：パスワード設定等に不備があり、サイバー攻撃に悪用されるおそれのあるIoT機器

- ① NICTがインターネット上のIoT機器に、容易に推測されるパスワードを入力することなどにより、サイバー攻撃に悪用されるおそれのある機器を特定。
- ② 当該機器の情報をインターネットプロバイダに通知。
- ③ インターネットプロバイダが当該機器の利用者を特定し、注意喚起を実施。

【マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起の取組概要】



調査対象：既にMirai等のマルウェアに感染しているIoT機器

- ① NICTが「NICTER」プロジェクトにおけるダークネット※に向けて送信された通信を分析することでマルウェアに感染したIoT機器を特定。
- ② 当該機器の情報をインターネットプロバイダに通知。
- ③ インターネットプロバイダが当該機器の利用者を特定し、注意喚起を実施

※NICTがサイバー攻撃の大規模観測に利用しているIPアドレス群